

水田農業をめぐる情勢

1. 令和5年産米関係

(1) 令和5年産米相対取引価格（出回り～令和6年4月末）

- 令和5年産米の4月末時点での相対取引価格は、全銘柄平均で 15,293 円/60 kg と 5年4月末対比 +1,431 円/60 kg (110%) となっている。
- 福島県産では、中通りコシヒカリ 14,882 円/60 kg (前年同月比 +2,176 円、117%)、ひとめぼれ 14,469 円/60 kg (同 +1,834 円、115%) となる等 価格が比較的安定している会津コシヒカリを除き 4年産対比 14%以上上昇し、各銘柄とも令和2年産米以上の価格で推移している。
- 取引数量は、累計（全国）1,421 千トンと前年比 81% となっている。
ただし、産地品種銘柄によっては、5年産米の1等比率が低くなっているため、取引数量の対前年比についてはその点を留意する必要がある。（統計は1等米を対象としているため）

<相対取引価格の状況(出回り～4月末)>

(単位:円／玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	5年産（令和6年4月末）		4年産（令和5年4月末）		2年産（令和3年4月末）		価格推移の状況			
		価格	数量	価格	数量	価格	数量	5年産 -4年産	5年産 -2年産	5年産 /4年産	5年産 /2年産
北海道	ななつぼし	15,598	106,799	13,997	124,943	14,832	119,642	1,601	766	111%	105%
青森	まっしへら	15,179	60,424	12,757	61,651	13,321	49,160	2,422	1,858	119%	114%
岩手	ひとめぼれ	15,169	61,897	13,657	65,202	14,843	58,274	1,512	326	111%	102%
宮城	ひとめぼれ	14,870	81,599	13,717	108,646	14,733	100,388	1,153	137	108%	101%
秋田	あきたこまち	15,285	124,633	13,879	160,191	14,832	128,481	1,406	453	110%	103%
山形	はえぬき	14,756	50,507	12,976	76,477	14,085	83,338	1,780	671	114%	105%
福島	コシヒカリ（中通り）	14,882	27,543	12,706	30,710	13,456	23,940	2,176	1,426	117%	111%
福島	コシヒカリ（会津）	15,375	24,529	14,646	26,269	15,110	20,600	729	265	105%	102%
福島	コシヒカリ（浜通り）	15,004	4,028	13,179	3,729	13,871	4,492	1,825	1,133	114%	108%
福島	ひとめぼれ	14,469	17,605	12,635	15,193	13,492	9,866	1,834	977	115%	107%
福島	天のつぶ	14,056	12,457	12,374	11,811	12,904	14,232	1,682	1,152	114%	109%
茨城	コシヒカリ	15,142	32,376	13,095	38,851	13,707	35,752	2,047	1,435	116%	110%
栃木	コシヒカリ	15,171	68,347	13,501	57,957	14,408	39,969	1,670	763	112%	105%
千葉	コシヒカリ	14,575	24,284	12,670	26,517	14,108	22,198	1,905	467	115%	103%
新潟	コシヒカリ（一般）	16,944	24,170	16,578	101,557	16,750	72,245	366	194	102%	101%
北海道	ゆめぴりか	16,525	58,384	15,488	82,043	16,894	64,425	1,037	▲ 369	107%	98%
山形	つや姫	18,719	28,824	18,528	33,955	18,561	35,314	191	158	101%	101%
新潟	コシヒカリ（魚沼）	20,752	9,162	20,965	20,025	20,337	19,184	▲ 213	415	99%	102%
全銘柄平均価格、合計数量		15,293	1,421,472	13,862	1,744,882	14,860	1,505,881	1,431	433	110%	103%

(2)令和5年産米の集荷・契約・販売の動向（令和6年4月末）

- 令和5年産米の集荷数量は、253.7万㌧（前年同月比95.1%）、契約数量は237.1万㌧（同96.3%）、販売数量は138.1万㌧（同105.7%）となっており、契約進度は98.2%、販売進度は52.0%と契約進度、販売進度とも前年を上回っている。
- 本県産は全体で契約進度97.4%（前年同月比+7.1ポイント）、販売進度37.6%（前年同月比+6.7ポイント）となっており、契約進度は全国平均を上回っているが、販売進度は全国平均を下回っている。
- 銘柄別には、契約進度は会津コシヒカリを除き前年同月時を上回り、販売進度は、ひとめぼれを除き前年同月時を上回っている。

<令和5年産集荷・契約・販売状況>

単位:千㌧、%

区分	銘柄等	年産	集荷数量	契約数量	販売数量	契約進度	販売進度	契約残数量	販売残数量
福島	中通コシヒカリ	5年産	38.7	33.7	17.0	87.1	43.9	5.0	21.7
		4年産	35.8	32.2	11.8	89.9	33.0	3.6	24.0
		比率・差	108.1	104.7	144.1	▲2.9	11.0	1.4	▲2.3
	会津コシヒカリ	5年産	29.3	37.7	8.2	128.7	28.0	▲8.4	21.1
		4年産	29.3	31.3	6.6	106.8	22.5	▲2.0	22.7
		比率・差	100.0	120.4	124.2	21.8	5.5	▲6.4	▲1.6
	浜通りコシヒカリ	5年産	5.0	6.0	1.6	120.0	32.0	▲1.0	3.4
		4年産	4.7	4.1	1.4	87.2	29.8	0.6	3.3
		比率・差	106.4	146.3	114.3	32.8	2.2	▲1.6	0.1
	ひとめぼれ	5年産	22.0	19.9	6.5	90.5	29.5	2.1	15.5
		4年産	21.1	17.7	6.8	83.9	32.2	3.4	14.3
		比率・差	104.3	112.4	95.6	6.6	▲2.7	▲1.3	1.2
	天のつぶ	5年産	17.1	16.4	8.3	95.9	48.5	0.7	8.8
		4年産	12.5	10.4	3.6	83.2	28.8	2.1	8.9
		比率・差	136.8	157.7	230.6	12.7	19.7	▲1.4	▲0.1
	全体	5年産	123.0	119.8	46.2	97.4	37.6	3.2	76.8
		4年産	114.4	103.3	35.3	90.3	30.9	11.1	79.1
		比率・差	107.5	116.0	130.9	7.1	6.7	▲7.9	▲2.3
参考 新潟	コシヒカリ一般	5年産	2,537.0	2,371.0	1,381.0	93.5	54.4	166.0	1,156.0
		4年産	2,669.0	2,462.0	1,306.0	92.2	48.9	207.0	1,363.0
		比率・差	95.1	96.3	105.7	1.2	5.5	▲41.0	▲207.0

(3) 民間在庫の動向（令和6年4月末）

- 令和6年4月末の民間在庫は、全国で180万トン（前年同月比▲39万トン）と当年産▲26万トン、1年古米▲7万トンとともに前年4月末を下回っている。
- 福島県の4月末民間在庫は111.5千トンと前年同月比▲6.1千トンとなっている。

<民間在庫の状況（出荷+販売段階）>

単位：千トン

区分		6年4月末	5年4月末	4年4月末	6年-5年	5年-4年
福島	当年産	107.5	111.5	112.9	▲ 4.0	▲ 1.4
	1年古米	3.5	5.0	9.6	▲ 1.5	▲ 4.6
	全体	111.5	117.6	123.8	▲ 6.1	▲ 6.2
全国	当年産	1,650.0	1,910.0	2,080.0	▲ 260.0	▲ 170.0
	1年古米	100.0	170.0	230.0	▲ 70.0	▲ 60.0
	全体	1,800.0	2,190.0	2,380.0	▲ 390.0	▲ 190.0
(参考) 新潟	当年産	119.3	158.0	146.5	▲ 38.7	11.5
	1年古米	7.4	8.6	10.7	▲ 1.2	▲ 2.1
	全体	127.9	167.1	158.0	▲ 39.2	9.1

- 平成30年以降の全国段階の在庫の推移を見ると過去5年間で最も在庫の少なかった平成30年/元年と比較しても4月末時点では12万トン少ない状況。

<全国段階の民間在庫の推移（うるち米）>

(単位：万トン)

	当年 10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	基本指針 6月末
30/元年 ①	288	305	301	282	258	227	192	161	131	189
元/2年	294	315	318	295	266	233	204	178	154	200
2/3年	324	344	342	321	293	265	230	199	173	218
3/4年	330	351	349	326	299	270	238	204	172	218
4/5年 ②	313	330	328	306	280	251	219	186	153	197
5/6年 ③	289	303	299	275	244	215	180			
③-②	▲23	▲26	▲30	▲31	▲36	▲36	▲39			
③-①	+1	▲2	▲2	▲7	▲14	▲12	▲12			

※ 基本指針の在庫には、出荷段階在庫+販売段階在庫+生産段階在庫+モチ米在庫

(4) 米穀販売事業者における販売数量の動向（令和6年4月）

- 米穀販売事業者における販売数量は、前年同月比103.8%（コロナ禍前の令和元年比では102.1%）となっている。
- コロナ禍により大きく落ち込んだ中食・外食事業者等向けも、令和元年の水準に戻りつつある。
- 小売事業者向けも諸物価が値上がりする中、前年同月比を5ポイント以上上回っており、令和元年の水準も上回って推移している。

<米穀販売事業者における販売数量の動向（速報）>

	5年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	99.6%	101.3%	98.3%	100.8%	106.7%	99.5%	101.6%	103.6%	102.5%	104.7%	105.0%	103.8%	
(※令和元年との比較)	(104.4%)	(103.2%)	(101.8%)	(101.1%)	(107.7%)	(101.3%)	(99.2%)	(107.1%)	(100.3%)	(101.8%)	(103.8%)	(107.5%)	
中食・外食事業者等向け	103.2%	107.1%	102.8%	101.7%	106.4%	104.4%	107.2%	105.9%	105.2%	105.2%	105.3%	101.8%	
(※令和元年との比較)	(92.6%)	(94.4%)	(94.3%)	(95.0%)	(99.1%)	(99.4%)	(97.3%)	(97.4%)	(101.8%)	(100.4%)	(99.5%)	(98.1%)	
販売計	101.2%	103.8%	100.2%	101.2%	106.5%	101.6%	104.1%	104.7%	103.7%	104.9%	105.1%	102.9%	
(※令和元年との比較)	(98.6%)	(99.1%)	(98.3%)	(98.4%)	(103.8%)	(100.5%)	(98.3%)	(102.4%)	(101.0%)	(101.2%)	(101.8%)	(103.0%)	
	6年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	105.5%	108.0%	106.5%	107.6%									
(※令和元年との比較)	(110.2%)	(111.4%)	(108.4%)	(108.8%)									
中食・外食事業者等向け	103.2%	106.1%	100.4%	98.9%									
(※令和元年との比較)	(95.6%)	(100.1%)	(94.7%)	(94.0%)									
販売計	104.5%	107.2%	103.8%	103.8%									
(※令和元年との比較)	(103.0%)	(106.2%)	(102.1%)	(102.1%)									

2. 令和6年産米関係

農水省は、5月30日「水田における作付意向（令和6年産第2回中間的取組状況（4月末時点））」を公表。（都道府県別及び地域農業再生協議会別に矢印（増加傾向、前年産並み、減少傾向）で表記。）

主食用米は、令和5年産と比較して増加傾向11県、前年並み25県、減少傾向11県となっている。

福島県は主食用米が1月末時点の「前年並み」から「増加傾向」となっているほか、概ね次のような状況と見通される。

<本県の現状（見通し）>

- 備蓄米：前年産及び当年産計画の3万トンを上回る見込み。
- 飼料用米：多収品種の作付は種子の受注状況から5,000ha弱と推定。
(令和5年産は2,541ha)
- 一般品種による飼料用米の取り組みは大きく減少する見込み。
- 飼料用米の減少>備蓄米の増加となり、主食用米が増加する傾向。

【令和6年産米等の作付意向（前年産実績との比較、令和6年4月末時点）】

主食用米	戦略作物							備蓄米
	加工用米	新市場開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稻	麦	大豆	
前年より増加傾向 [5県]	20県 [17県]	26県 [19県]	20県 [17県]	1県 [3県]	25県 [18県]	24県 [17県]	7県 [5県]	5県 [2県]
前年並み [30県]	10県 [18県]	6県 [17県]	9県 [22県]	9県 [17県]	15県 [23県]	10県 [16県]	12県 [19県]	5県 [10県]
前年より減少傾向 [11県]	14県 [8県]	6県 [1県]	16県 [5県]	36県 [25県]	6県 [4県]	11県 [11県]	26県 [20県]	21県 [18県]

下段[]は、1月末時点の作付意向

は、福島県の位置

5年産実績と比較し、増加傾向：1%超増加、前年並み：増減1%以内、減少傾向：1%超減少で分類

以上

水田における作付意向について（令和6年産第2回中間的取組状況(令和6年4月末時点)）②

都道府県	主食用米			戦略作物										備蓄米			
	5年産実績	6年産意向(対前年実績)		加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稻 (稻発酵粗飼料用稻)		麦		大豆	
		4月末時点 (今回公表)	1月末時点 (前回公表)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)
全国計	124.2万			48,797		9,091		7,587		133,925		53,055		104,526		87,973	
北海道	82,200	↗	↗	6,920	↓	1,974	↗	143	↓	6,788	↓	1,594	↗	33,869	↓	17,865	↓
青森	33,800	↗	↗	787	↓	321	↗	12	↗	7,930	↓	788	↗	561	↓	4,801	↓
岩手	42,800	→	→	1,283	→	417	↗	30	↓	5,739	↓	2,396	↗	3,491	↗	4,196	↓
宮城	57,200	↗	→	626	↗	894	↗	103	↗	9,801	↓	2,757	↗	2,186	↗	9,525	→
秋田	69,900	→	→	8,264	↗	500	↗	329	↗	4,265	↓	1,235	↗	182	↓	8,701	→
山形	52,400	→	→	4,516	→	440	↗	112	↓	5,138	↓	1,239	↗	73	↗	4,655	↓
福島	53,100	↗	→	448	↓	142	↗	12	↗	11,722	↓	1,079	↗	333	↗	907	→
茨城	57,800	↗	→	947	↗	762	↗	55	↗	13,886	↓	653	↓	4,037	↗	776	↓
栃木	47,200	↗	↓	1,513	↗	70	↓	1,418	↓	15,069	↓	2,177	↗	7,442	↗	419	↓
群馬	12,400	↗	→	1,389	↓	0	↗	168	↓	1,661	↓	621	↓	2,185	↗	118	↗
埼玉	27,500	→	→	144	↗	52	↗	769	↗	3,605	↓	124	↓	1,877	↗	383	↗
千葉	45,800	↗	→	1,672	↗	35	↗	135	↗	10,154	↓	1,316	↓	440	↓	262	↓
東京	111	→	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川	2,850	→	→	-	-	-	-	-	-	13	→	2	→	4	→	6	→
新潟	100,600	→	→	7,093	↓	1,586	↗	1,784	↓	4,032	↓	533	↗	189	↗	3,996	↓
富山	31,200	→	→	1,220	↓	342	↗	266	↗	2,096	↓	480	↗	2,834	→	4,165	↓
石川	20,800	→	-	481	↗	65	↗	371	↓	1,131	↓	127	↗	1,198	↗	981	→
福井	21,500	↗	↗	322	↗	132	↗	213	↗	1,976	↓	160	→	5,210	↓	76	→
山梨	4,660	↓	↓	62	→	-	-	29	↓	21	↓	18	↗	62	→	99	→
長野	29,300	→	→	733	↓	245	↗	24	↗	429	↓	265	↗	2,543	↓	670	↓
岐阜	19,700	→	→	741	↗	78	↗	65	↗	3,496	↓	303	↓	3,689	↗	359	→
静岡	15,000	→	→	105	↓	1	→	8	↓	1,011	↓	330	→	244	↗	38	↗
愛知	24,700	↗	→	573	↗	44	↗	278	↗	2,040	↓	182	→	5,646	→	70	↓
三重	24,900	→	→	168	↗	54	↓	95	↓	2,426	→	303	→	7,050	↗	188	↓

注 1 : 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「6年産意向(対前年実績)」は、5年産実績と比較し、「↗: 増加傾向」(1%超増加)、「→: 前年並み」(増減1%以内)、「↓: 減少傾向」(1%超減少)で分類。

2 : 主食用米の5年産実績は、令和5年12月統計部公表の主食用作付面積。

3 : 加工用米、新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稻の5年産実績は、取組計画認定面積。

4 : 麦・大豆の5年産実績は、地方農政局等が令和5年9月30日時点での都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

5 : 備蓄米の5年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

水田における作付意向について（令和6年産第2回中間的取組状況（令和6年4月末時点））③

都道府県	主食用米			戦略作物										備蓄米			
	5年産実績	6年産意向（対前年実績）		加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稻 (稻発酵粗飼料用稻)		麦		大豆	
		4月末時点 (今回公表)	1月末時点 (前回公表)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)
滋賀	27,000	→	↗	608	↘	205	↗	58	↗	2,033	↘	310	↗	8,222	↗	591	↗
京都	13,200	→	→	551	→	25	↘	10	→	133	↘	158	→	290	→	266	→
大阪	4,430	↘	↘	0	↗	-	-	5	→	6	↘	4	↗	2	↗	8	↗
兵庫	32,500	↘	→	674	→	185	↗	48	↘	819	→	972	↗	1,931	→	1,658	↗
奈良	8,200	→	→	19	→	-	-	36	→	50	→	43	→	68	→	22	→
和歌山	5,780	→	→	-	-	-	-	1	→	3	→	4	↘	4	↘	11	↘
鳥取	11,700	→	→	25	↘	33	↗	0	↗	821	↘	392	↗	68	↗	619	↘
島根	15,900	↘	↘	252	↘	2	→	7	↘	804	↘	745	↗	281	↘	629	↘
岡山	26,900	↘	↘	295	↘	189	→	120	↘	1,824	↘	475	↗	1,269	→	1,116	↘
広島	20,500	→	→	351	→	44	↗	96	↗	443	→	708	→	318	↘	226	↘
山口	16,000	↘	↘	976	→	86	→	43	↘	1,108	↘	410	↗	711	↗	816	↘
徳島	9,480	↗	→	20	↗	40	→	11	↗	1,007	↘	247	→	55	↗	7	↘
香川	10,100	↘	↘	48	↗	28	↗	7	→	195	↗	269	↗	1,322	↗	39	↘
愛媛	12,800	→	→	34	↗	-	-	6	→	344	↘	217	↗	430	↗	313	↗
高知	10,200	→	→	84	↗	-	-	18	→	1,135	→	321	→	5	→	54	→
福岡	32,300	→	↗	224	↘	12	↗	322	↗	2,475	↘	2,068	↗	1,140	↘	7,773	→
佐賀	21,700	→	→	406	↘	8	→	19	↘	829	↘	2,246	→	1,411	↗	6,241	↘
長崎	10,000	↘	↘	6	→	10	↘	4	↗	117	→	1,549	→	78	↘	256	↘
熊本	28,900	→	→	672	→	41	↘	309	→	1,646	↘	9,167	→	795	→	2,238	↘
大分	18,100	↘	↘	148	↗	2	↗	13	↘	1,932	↘	2,758	→	693	↗	1,317	↘
宮崎	12,700	↘	↘	1,978	↗	22	↗	22	↗	887	↘	7,207	↗	18	↗	207	↘
鹿児島	15,800	↘	↘	1,389	↗	1	↘	12	↗	880	↘	4,081	→	75	↗	310	↘
沖縄	544	→	→	30	↗	-	-	2	→	3	→	22	↗	-	-	-	-

注1：主食用米、戦略作物及び備蓄米の「6年産意向（対前年実績）」は、5年産実績と比較し、「↗：増加傾向」（1%超増加）、「→：前年並み」（増減1%以内）、「↘：減少傾向」（1%超減少）で分類。

2：主食用米の5年産実績は、令和5年12月統計部公表の主食用作面積。

3：加工用米、新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稻の5年産実績は、取組計画認定面積。

4：麦・大豆の5年産実績は、地方農政局等が令和5年9月30日時点での都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

5：備蓄米の5年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。